

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 其他河川郷谷川通常砂防事業に伴う測量設計業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 砂防

ボーリング名	BorNo.2		調査位置	広島県大竹市油見二丁目 地内		北緯	34° 13' 17.2800"			
発注機関	広島県西部建設事務所 廿日市支所			調査期間	令和5年 6月28日～ 令和5年 6月30日		東経	132° 12' 52.3800"		
調査業者名				主任技師			現代理人			
孔口標高	55.86m	角			方			地盤勾配	0° 水平 0°	
総削孔長	11.00m	度			使用機種	試錐機 吉田鉄工所 YBM 05-DA型		エンジン	ヤンマー-TF90M型	
						コピ定者		ポンプ	YBM-GP5	

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試験採取	室内試験	削孔月日			
											深 度 (m)	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料番号				採取方法		
	55.86	0.20	砂質土	砂質土	暗褐				旧耕土 ・ 基本根混じる暗褐の旧耕土 ・ 旧耕土及び崩壊土 ・ 礫はφ50mm程度以下の中-粗礫が混入 ・ 基質は細-中粒砂から成るシルト質砂土 ・ 土流堆積物 ・ 確認石長L=50cm以下の転石が点在 ・ 玉石は確認石長L=10~20cm程度が混入 ・ 礫はφ75mm程度以下の円磨度乏しい中-粗礫から成る ・ 礫種は非常に堅硬な泥質岩、チャート等が主体で基岩同質礫-クサリレキが点在 ・ 隙間を充填する基質は中-粗粒砂 ・ 細粒分及びφ5mm程度以下の細礫ならびに鉱物片を伴い粒径幅広い ・ 確認石長L=30cm以上の転石点在深度は以下のとおり ・ GL-2, 50-2, 80m (30cm), GL-4, 21-4, 85m (64cm)	6/29 2/20	14	1.15	5	6	3	14	300				6/28	
	55.16	0.70	砂質土	砂質土	暗褐	rd5					49	2.18	11	17	21	49	300				6/29	
	49.06	6.80	花崗岩	花崗岩	灰褐				粗粒黒雲母花崗岩強風化土 (DL) ・ 風化変質が進行し岩質は著しく軟質化 ・ 原岩組織はやや明瞭に残存 ・ 採取試料は土砂状を呈す		50	3.48	17	23	10	50	300					
	47.86	8.00	花崗岩	花崗岩	灰褐				粗粒黒雲母花崗岩強風化岩 (DH) ・ 風化変質が進行し岩質は軟質化 ・ 原岩組織は明瞭に残存するも、長石の一部で粘土化進行 ・ 採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ね土柱状を呈し指圧で容易に圧潰可能 ・ 深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化		50	4.18	50		50	60						
	44.86	11.00	花崗岩	花崗岩	灰褐						50	5.18	12	12	26	50	300					
											50	5.48										
											32	6.18	3	9	20	32	300					
											19	7.15	4	4	11	19	300					
											50	8.15	38	12		50	140					
											50	9.15				50	100					
											50	10.18	50			50	80					
											50	10.18	80			50	80					
											50	11.00	50			50	70					
											50	11.07	70			70						